



# 明化の教育

6月号（第501号）

令和4年5月31日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

## 「明化の子どもはやり通す」

副校長 原 洋子

明化小学校に着任して2か月がたちました。初めて明化小学校に来た時、驚いたのは明化小学校の教育目標です。学校には教育目標が必ずありますが、今まで経験してきた学校は子供たちが理解しやすい短い言葉でした。例えば「考える子」「やさしい子」「たくましい子」などです。これはこれで子供たちにとっても分かりやすくてよいのですが、明化小学校の学校教育目標は以下のとおりです。

明化の子どもはやり通す

- ・やり通す ころとからだ
- ・人のため 進んでだせる ことばと力
- ・気づき 考え つくりだす力



毎週月曜の全校朝会の際、6年生の代表児童が明化小学校の大切なシンボルである「静心の鐘」を鳴らして教育目標を発声します。その後、他の子供たちが続けて唱えます。このように1週間の始まりを静かな心でスタートする習慣が本校にはあります。初めはこの全校朝会の方法に驚きましたが、子供たちと同じように鐘を聞き、自分も声に出して言うと、心が静まり「今週も頑張ろう」と、力が湧いてきます。それは今までにない不思議な感覚でした。以前からいる職員に話を聞くと、卒業生は今でも明化の教育目標を言えるそうです。現在、本校の卒業生が教育実習として来ていますが、もちろん教育目標を大きな声でしっかりと唱えています。とても嬉しいことです。

これからは予測不可能な時代になり、どのような状況においても「やり通す ころとからだ」が必要です。そのために明化小学校では自分で生活習慣を整え、心身ともにたくましい児童を育てていきます。また、「人のため進んでだせることばと力」では、単に子供たちのコミュニケーション力だけでなく、相手を気遣いながら自分の気持ちも上手に伝えることができる子供を目指します。それが人権尊重の精神を養い、豊かな情操と友愛の精神を高めることにつながると考えます。さらに、「気づき 考え つくりだす力」では、よく考えることをとおして、自主性と創造性を伸ばしていける子供たちを目指します。

明化小学校では、この教育目標を具現化するために、（1）人権尊重の教育（2）豊かな心の育成（3）確かな学力の育成（4）健やかな体の育成（5）特色ある学校づくり を基本方針として教育活動を展開しています。特に特色ある学校づくりでは、令和6年度に迎える開校150周年に向けて、学校に寄せる人々の思いを感じ『伝統を振り返り、新しい明化小の歴史を自分たちの力で創り上げよう』という気概をもった児童の育成をとおして、愛校心や感謝の気持ちを深めていきます。明化小学校には他にも、伝統の俳句作り、明化帽（校帽）、器楽部の活動、「明化しぐさ」など、大切にしたいものが多くあります。

子供たちに負けず教職員も、校長の経営理念である『子供のためにやり通す』学校を目指し、一丸となって、子供たちや保護者の皆様、地域の皆様との信頼関係を築き、共に子供を育てていく学校でありたいと思います。今後とも明化小学校の教育に対する御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。